



休憩時間でも山中氏の周りには、常に多くの参加者が取り囲んでいた。そして一緒に写真を撮ってもらったり握手をしたりで、皆童心に戻ったようだ。

会場内には山中氏が生み出した名車達や、地元オーナー達の協力により展示された花を添えた。

参加者も地元鹿児島県・宮崎県、熊本県をはじめ、何と千葉県、長野県と遠方からの参加者がいたのは驚いた。遠方から来た方によれば「関東では各オーナーズクラブの方々が取り囲むので、ここまで身近に山中さんと接する事はできません。本当に素晴らしい時間です」と、山中氏の影響力の大きさを知る。

そんな参加者の年齢層も広く、下は小学生から上は70代の方まで約60人。開場と共に教室の席が前から埋まっていく様は、皆の期待の高さが分かる。

講演会は二部構成で、第一部はフラッグシップモデル論。本にも書かれている内容に裏話を加えての楽しいお話だ。第二部は、どうやって新しい発想を生むか、夢を持つ事の大切さ等、次の世代に向けてのメッセージ。

この日は学生が10数名来ており、中には偶然にもホンダ技研に就職内定をもらっている高専生もいた。せつかくの機会なので、大ベテランのホンダエンジニアに、未来のホンダエンジニアが熱い胸の内を話し、会場に感動的な空気が流れる一幕も。

今回空港自動車学校と鹿屋寿自動車学校の御好意により、学生たちには無料で本も提供されたので、これを機に、未来のトップエンジニアが生まれてくれれば最高だ。

そんな楽しい講演は、予定時間はあつと言う間に過ぎていき、最後の希望者へのサイン会がスタート。気がつけば全ての参加者がサインを貰うという予想外の展開に、予定時間を大幅に過ぎてしまい、展示バイクの試走や全員との記念写真が撮れなかったのが悔やまれる。皆一様に大満足だったようで、本当に意義深いイベントだったと感じる。

南九州ではなかなか実現が難しいバイク業界の偉人との交流は大成功に終わり、次への大きな収穫となった。

また新たな企画を楽しみにして頂き、今回参加出来なかった方も次回はメーカー・ジャンルに関係なく是非とも参加してみたい!

「ホンダフラッグシップバイク開発物語」 出版記念講座&山中勲氏サイン会 in 空港自動車学校

2010年12月5日に鹿児島県霧島市の空港自動車学校にて、元ホンダエンジニアで耐久レーサー RCB 1000 や、CB750 / 900F、VFR シリーズ (RC30 等)、GL1500、ST1100、NR750、CBR1100XX ブラックバードなどホンダを代表するフラッグシップモデルを数多く手掛けた山中勲氏の自叙伝出版記念講座が開催された。

